

SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.170＞ 2023 年 1 月 20 日号

かわらばん特別企画「修養団と私」

昨年、1月号よりスタートいたしました「修養団と私」。毎月、修養団運動推進の原動力として、各地で活躍されている方々に特別寄稿いただいております。

修養団と私

福島県連合会 理事・教育普及部長 江藤 晃靖



昭和53年3月29日、101名の新入社員が㈱ヨークベニマルに誕生した。

当時から新入社員研修として「修養団研修」が取り入れられていた。

大高義雄会長の講話後、菅野辰三郎講師と乾井孝明講師による研修が始まった。童心行～灯の集い、さあ明日は水行だ。講師陣の後を引き込まれるように猪苗代湖へ、思ったより水の中は暖かい。やがて水から上がると寒風の中手も足もしびれ、振り向くとサンダルが水面のいたるところに浮いていた。修養団との出会いだった。「為せば成る」率直な感想だ。

平成4年2月、山形の店舗を担当することになった。赴任早々課題は山積していた。この年から「個の尊重」を軸として、「修養団研修といった集合研修は廃止」「入社式は各店各地域で考え実行」「教育はOJT」「制服廃止」etc.

チェッカーの姿を見て愕然とした。23歳の女性が上はタンクトップ、下はショートパンツ（当時はホットパンツ）、イヤリングに濃い目の化粧…そのレジには男性客が列を成した。『店長！何とかしてください、私たちやってられません！』チェッカーマネジャーの悲痛な叫び声を耳にして、何とかしなければと考えた。会社の趣旨を説明したが効果はなかった。ふと新入社員教育で受けた修養団研修を思い出し、人事の柳沼俊一マネジャーにお願いし「研心手帳」を100冊手配してもらった。メンバー（パート社員）をグループ分けし毎週土曜日、店長による社員研修を行った。それは会社の方針や経営理念を説くには十分な成果があり、やがて聞きつけたテナント様をも巻き込んでいった。「心はこうやって磨かれていくんだ」と思った。

平成9年2月、採用教育部総括マネジャーとして、全社の教育を担当することになった私は、早速この修養団研修を復活させようと考えた。幸運

なことに翌平成10年9月に山形の南館店が開設される。しかも店長は先の柳沼さんだ。店長にこの趣旨を話し新店開設前にメンバー全員を対象とした修養団研修の実施をお願いした。

『うちの妻に宗教教育をするのか？』『修養団とはどの組の組織だ？』…

柳沼店長は1人ひとりに、またメンバー宅を訪問してまで説得してくれた。こうして開店1ヶ月月の8月、店舗での研修が実現した。

研修後メンバー1人ひとりの感想文が手元に届いた。「身構えて臨んだ研修だったが、心が晴れ晴れとした素晴らしい研修だった。」特に30代子1人の主婦から、「この研修で礼法作法を学び、礼の仕方から食前・食後の感謝の言葉、箸の持ち方まで初めてまともに教えていただいた。ぜひこのことを娘に教えたい。」…

天地一切の恵みと
これを作られた人々のご苦勞を感謝いたします。
いただきます。

恵みの食事を終って
生命に新しい力をいただきました。
ごちそうさまでした。

『これがあの山形でさえ核家族化が進む実態です』役員会で報告と修養団研修復活を提案した。『やらないとダメか、勝手にやりなさい』事実上の社長承認となった。現在新入社員研修に留まらず、新店研修や幹部研修にまで拡大して行なわれている。平成9年に乾井講師が本社を訪れ帰り際に『いずれまた修養団研修は復活する』とつぶやいた一言が思い返された。



【2006. 07. 16. 修養団郡山支部 発会式 祝賀会】

江藤 晃靖さんへ《質問コーナー》

- ① 好きな言葉(座右の銘)
→「順流一志」…流れに従い志を一つとす。
- ② 私のおすすめの本
→「ゴルゴ13(1巻から現在207巻まで持っています。)」
- ③ 好きな食べ物
→「黒醤油ラーメン・かつ丼・激辛カレー」
- ④ 趣味
→「スティールカメラ(キャノン A1 モータードライブ・アコースティックギター)」
- ⑤ 最近はまっていること、または始めようとしていること
→「しっとり炒飯」
- ⑥ 夢(子どものころと現在)
→「医者」(子どもの頃)、「世界一周旅行」(現在)
- ⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ
→「明るく元気に前向きに、愛と汗の精神を実行しましょう」

→ご感想やメッセージなどありましたら、
ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

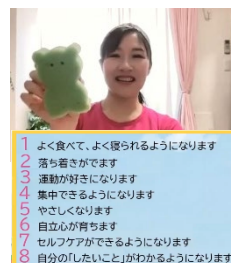
主催事業・活動等

報 告

12/18…第2回「Zoomでオンライン家庭《共育》ひろば」「誰でも楽しめるキッズヨガ」

26人 《講師:ミナクシみよこ》

日本キッズヨガ協会代表理事であるミナクシさんが、スポンジくまさんを使い、ヨガのことや効果を分かりやすく説明。勉強した後、子どもたちは冒険に出かけたり、動物になってヨガのポーズをとったり、ゲームで体を伸ばしたりと、ヨガを実践。笑顔あふれる楽しい会となった。



12/26～30…第1回「子ども自然体験スキーキャンプ」38人(リーダー13・キャンパー25)

〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあ、裏磐梯スキー場〕《高橋源一郎、板倉和也、谷野渉、増田航介》



「日本と言えば・・・」をテーマに、富士山とかまくらやスカイツリーなどのユニークなオブジェを作り、夜のナイトハイクの際にはライトアップされたきれいな作品を鑑賞した。スキー1日目は青空が見えるなど、12月にしてはとてもいい天気になった。2日目は少し寒い日となったが、安全を考慮し休憩を取りながら行い、誰一人体調をくずすことなく楽しむことができた。



大寒波で立ち往生のニュースがある中、開催されたスキーキャンプだったが、例年のスキーキャンプに比べると天候に恵まれプログラムを実施することができ、怪我無く大きなトラブルもなく無事に終えることができた。

予 定

2/11～12…「第11回全国修養団運動推進会議」〔東京都・SYDホール〕

1泊2日間、組織の代表者が親睦を深めつつ創立の精神に立ち返り、修養団運動のさらなる発展を期し開催。SYDボランティア奨励賞・修養団功労者表彰贈呈式、また修養団宇部市連合会会長の岡村精二氏より「縁は人生の宝。今を生きる。」をテーマに記念講演、岐阜県連合会青年部ともしび会のメンバーで、ソプラノ歌手の伴真由子氏より祝賀講演、及び同ともしび会より活動報告を予定。

2/15～17…「リフレッシュセミナー」〔福島県猪苗代町・みなとや〕

《鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也》
企業・団体の一般社員・職員および個人が対象。体験学習やグループワークなどを通して自己を見つめ、心と体のリフレッシュを図る。

2/21…「子どもWAKU×2ひろば」(郡山)くみどり幼稚園>“冬と自然と友だちと”〔福島県郡山市・郡山自然の家〕

《板倉和也》

2/26…第5回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会”いきいき生きる”かきけこ”」

《講師:保坂正志》

★「オンライン青年ボランティアゼミナール」

1/27…第4回“居場所があなたを救う ～衣食住の次に大切なこと～”

《講師:伊東悠太(小学校教諭)》

2/17…第5回“テーマ未定”

《講師:いのちを守る@プロジェクトJAPAN》

★WAKU×2ボランティアリーダー研修会

2/17～19…裏磐梯<SYDいばらき>〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕

《志村和也》

2/18～19…千葉<SYD東京>〔千葉県・南房総市大房岬自然の家〕

《板倉和也》

★ボランティア・アクション

2/ 4～ 5…福島<協力:山都愛汗の会>〔福島県・ばんだいふれあいぴあ、愛汗苑ほか〕

《板倉和也・谷野渉》

2/25～26…広島<協力:SYD広島>〔広島県・広島市似島臨海少年自然の家〕

《板倉和也》

★みがく講習会〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕

2/ 7～10…第1221回

★みがく特別講習会〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕

2/11～12…第1回

2/18～19…第2回

2/25～26…第3回

会員組織の主な動き

報 告

12/25～26…修養団伊勢いなほの会「辻幹雄さん11弦ギターコンサート」30人〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕



昨年に引き続き昼間に横笛奏者の松尾慧さんとジョイントで行われた。夜は懇親会を翌日は伊勢青少年研修セン

ター武田所長の丁寧で楽しい内宮のご案内と特別参拝、御神楽奉納をし閉講式後に解散した。〈発信・斎田信子〉

辻さんは、1983(昭和58)年に11弦ギターと初めて出会い独学で演奏をマスターし、1991(平成3)年にニューヨーク・カーネギーホールでオリジナル曲によるリサイタルを行うなど11弦ギターの魅力を今も伝えている。1996(平成8)年に伊勢神宮での奉納演奏をきっかけに、同センターでの演奏会を続け今回で27回目を迎えた。〈伊勢志摩経済新聞より〉

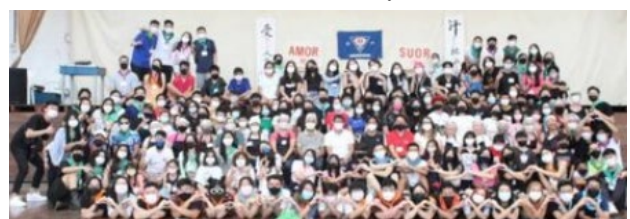


ブラジル修養団情報

1/7～2/5…ブラジル修養団「青少年講習会・講演会」〔ブラジル・サンパウロほか〕

今年は、3年ぶりとなる講習会を再開。日程についてブラジル修養団・蓮沼英美雄さんから連絡をいただきました。

※写真はインスタグラム(Shuyodan Brasil)より





1/ 7～ 8…モジダスクルーゼス少年少女講習会

1/14～15…スザノ少年少女講習会

1/21～22…マウアダセーハ少年少女講習会

1/24～25…アサイ少年少女講習会

2/ 4～ 5…マリンガ修養林間学校

情報あれこれ

おめでとうございます

★令和4年度修養団功労者表彰 受賞者★

(敬称略・順不同)

【名誉団員】

北海道 八城 君子
埼玉県 森田 睦子
東京都 菅野 浩和(追贈)
鹿児島県 下村 祐毅
ブラジル 坂野 聖剛(追贈)

【特別表彰・蓮沼賞】

北海道 田口 義全司
千葉県 伊藤 孝行
岡山県 宮崎 興一

【個人表彰】

北海道 中西八重子
福島県 東條貞一郎
福島県 平栗 裕治
広島県 上原 奈々
広島県 藤井 南輝
沖縄県 宮城 守

【団体感謝状】

東京都 アサギ株式会社
東京都 西川株式会社
東京都 株式会社サンライジング

東京都 モリシタ株式会社
静岡県 中部機電サービス株式会社
富山県 高岡信用金庫
京都府 京都北都信用金庫
福井県 株式会社ジャクエツ
沖縄県 公益財団法人沖縄県祈念財団
戦没者遺骨収集情報センター

【個人感謝状】

東京都 植木 秀子
東京都 川上 美保
埼玉県 瀧深 徹
大阪府 龍神 悦子
兵庫県 大谷 智子
兵庫県 原坂 一郎
三重県 磯田 保
三重県 安田 和弘
三重県 日置 辻男
沖縄県 久保田秀樹

★第17回SYDボランティア奨励賞 受賞者★

(敬称略・順不同)

【文部科学大臣賞】

札幌市立宮の森中学校
科学部 科学工作ボランティア (北海道)

【優秀賞】

〔小・中学生の部〕

陸別町立陸別中学校 ボランティア部
(北海道)

〔高校生の部〕

福岡県公立古賀竟成館高等学校 家庭クラブ
(福岡県)

〔大学・一般の部〕

山口学芸大学ボランティアサークル 子どもの木
(山口県)

【特別賞】

福島きずなプロジェクト (神奈川県)

新規採用職員(1月1日付)

林 春幸(28歳) SYD本部勤務



<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ: <https://syd.or.jp/>

SYD 検索